

力合わせて戦争法廃止

長野県春闘共闘と県労連 一斉宣伝

「国民の共同と連帯し、暴走政治ストップの春闘に」と訴える人たち117日、長野市



長野県春闘共闘委員会と県労連は7日、2016年春闘の一斉宣伝に取り組みました。長野駅前では、ヒラやミニカイロを配って、通勤の労働者に元気に声をかけました。春闘共闘代表委員で

県労連議長長の細尾俊彦氏は「戦争法の強行は絶対に許せない。いま戦争法を廃止させ安倍退陣を求める、壮大な市民の共同が広がっている。この共同と連帯し安倍暴走政治にストップをかける春闘にし

よう。すべての働く人の賃金を引き上げ、地域経済を活性化させるため、みんなで頑張ろう」と訴えました。

各組合の代表が次々にマイクを握り、「満蒙開拓に多くの子どもたちを送り込んだ痛切な反省に立って、戦争への道は許さない。平和と暮らしを守る春闘にしよう」（県教職員組合代表）、「官民一体となって、春闘をたたかおう」（県国公共闘代表）、「医療・介護で働く労働者の待遇改善をはかる春闘に」（県医労連代表）、「地域を元気にする春闘にしよう」（長野労連代表）と、それぞれの立場から春闘での共同を訴えました。